

活動報告

団体名	ユナイテッドかながわ
活動名	2022 台風 15 号静岡支援のための生活再建・緊急支援プロジェクト
活動期間	2022/09/26～2022/12/31
活動の成果	<p>・水道停止により生活用水や飲料水の不足が生じ、他団体や現地の方々と連携をとり、また店舗の一部を借りる等して支援活動に入った。多量の水が必要となるため、ご高齢の方々が飲料水等を運ぶのに苦労され、また見送る方も見受けられた。なお、急を要する支援のため休日を待たず平日の午前中に配布したが、仕事を持つ方々への支援が行き届かなかった。そのため2回3回と水搬送を行った。ひとり住まいの高齢者宅からの支援依頼から始まった支援活動だったが、現地に赴くたびに、現地の被災された方々が自然と集まり、その中で支援活動に関する情報交換や共有が行われ、また、被災された方が近隣の被災された方への励まし合ったり、年配者から若者へロープの結び方を教えたりするなど小さなコミュニティ構築が見られた。支援を必要とする方々と支援者との信頼関係を築くためには継続的な支援活動が求められると考える。また、現地の方々とのコミュニケーションにより、川を埋め立てたことによる水害の増大化等の地域的な問題が明確された。</p> <p>災害が広範囲に渡ったため、活動者不足に陥ったが、他団体との連携により支援活動の継続が図れた。災害時だけでなく、継続かつ定期的な支援団体同士の連携やコミュニケーション活動が欠かせない。</p> <p>高齢等の年齢や、普段から周囲との付き合いが薄い方ほど、災害時に切迫した状況になることが見受けられた。被害を一人で抱え込み、支援要請も出しづらい状況に陥っている。地域コミュニティ構築の重要性が高い。</p> <p>活動者の経験等により、技術的および知識的な技量の差が大きく出たことにより、平時からの、災害ボランティア活動者を対象および内容に特化した継続的な技術等の研修会開催が求められる。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>当法人は普段から活動拠点およびストックヤードを構え、資機材や災害備品などを保管しているが、災害が発生しすぐに被災された方々への配布および搬送を行った。被災地域自治会など資機材および災害備品の不足に陥った。その補充のための資金提供により資機材充足なども図れた。また、3カ月にわたる支援活動のため、高速代は免除されたもののガソリン代の負担も小さくなく、多くの方のボランティア活動者へ燃料代として支給し負担の軽減を図れたことは大変ありがたかった。</p> <p>被災された方々も支援回数が増えるにつれ安堵した表情や明るい表情が出てくることが増え、今後の生活に向けてモチベーションの向上が図れた。その様子を見るにつれ、ボランティア活動者も嬉しい思いが沸き上がった。</p> <p>多大なる支援をいただき、感謝申し上げます。</p>

(活動のようす)

